ウィークリー・マーケット

2025年10月第1週号（2025年9月29日発行）

amova アモーヴァ・アセットマネジメント　アセットマネジメント(am)をムーヴ(move)する

Weekly Market

ご参考資料

主要指標の動き

2025年9月26日時点（1週間前＝9月19日、3ヵ月前＝6月26日、6ヵ月前＝3月26日、1年前＝2024年9月26日）なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

	指標	先週末	騰落率(%) 週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	24年末比
世界	世界株価 注1	535.52	▲ 0.5	7.7	16.5	16.5	17.4
	先進国株価 注2	13,671.98	▲ 0.4	7.6	16.2	16.5	16.5
	先進国(除く日本)株価 注3	15,799.33	▲ 0.4	7.5	16.3	16.6	16.3
	新興国株価 注4	720.61	▲ 1.1	8.6	18.8	16.3	25.6
日本	日経平均株価	45,354.99	0.7	14.6	19.3	16.5	13.7
	JPX日経インデックス400	28,606.89	1.1	12.4	12.5	15.1	13.6
	TOPIX (東証株価指数)	3,187.02	1.2	13.6	13.3	17.1	14.4
	東証プライム市場指数	1,640.73	1.3	13.7	13.3	17.2	14.5
	東証スタンダード市場指数	1,502.35	▲ 0.1	9.1	13.8	19.2	18.1
	東証グロース市場指数	992.63	▲ 1.2	3.8	14.8	17.8	20.4
米国	NYﾀﾞｳ 工業株30種	46,247.29	▲ 0.1	6.6	8.9	9.7	8.7
	S&P 500種	6,643.70	▲ 0.3	8.2	16.3	15.6	13.0
	ナスダック総合	22,484.07	▲ 0.7	11.5	25.6	23.6	16.4
	ナスダック100	24,503.85	▲ 0.5	9.2	23.0	21.8	16.6
	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ半導体	6,305.05	1.2	13.8	39.8	18.7	26.6
欧州	欧州 ｽﾄｯｸｽ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ600	554.52	0.1	3.2	1.1	5.5	9.2
	英国 FTSE100	9,284.83	0.7	6.3	6.9	12.1	13.6
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	579.79	0.5	4.4	3.7	11.7	14.8
	ドイツ DAX	23,739.47	0.4	0.4	3.9	23.4	19.2
アジア・オセアニア	中国 CSI300	4,550.05	1.1	15.3	16.1	28.3	15.6
	中国 上海A株	4,012.92	0.2	11.0	13.7	27.6	14.2
	中国 深圳A株	2,584.82	▲ 0.1	20.8	20.8	50.9	26.2
	中国 創業板	3,151.53	2.0	49.0	47.3	83.9	47.2
	香港 ハンセン	26,128.20	▲ 1.6	7.4	11.3	31.1	30.3
	台湾 加権	25,580.32	0.0	13.7	14.9	11.9	11.0
	韓国 KOSPI	3,386.05	▲ 1.7	10.0	28.1	26.7	41.1
	シンガポール ST	4,265.98	▲ 0.9	8.3	7.6	19.1	12.6
	マレーシア FBM KLCI	1,609.05	0.7	5.3	6.0	▲ 3.7	▲ 2.0
	タイ SET	1,278.74	▲ 1.1	15.5	7.4	▲ 12.1	▲ 8.7
	インドネシア ｼﾞｬｶﾙﾀ総合	8,099.33	0.6	17.4	25.1	4.6	14.4
	フィリピン 総合	6,027.12	▲ 3.8	▲ 4.8	▲ 2.3	▲ 19.2	▲ 7.7
	ベトナム VN	1,660.70	0.1	21.6	25.2	28.6	31.1
	インド SENSEX	80,426.46	▲ 2.7	▲ 4.0	4.1	▲ 6.3	2.9
	豪州 S&P/ASX200	8,787.72	0.2	2.8	9.9	7.1	7.7

	指標	先週末	騰落率(%) 週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	24年末比
中南米	ブラジル ボベスパ	145,446.66	▲ 0.3	6.1	9.8	9.4	20.9
	メキシコ IPC	62,307.07	1.8	8.4	18.0	16.3	25.8
他	南ｱﾌﾘｶ FTSE/JSEｱﾌﾘｶ全株	106,700.10	0.6	11.2	18.7	22.2	26.9
債券	日本国債 注5	307.94	▲ 0.0	▲ 2.1	▲ 2.2	▲ 7.5	▲ 5.9
	先進国(除く日本)国債 注6	1,057.22	▲ 0.4	0.2	5.6	2.5	7.7
	新興国債券 注7	896.65	1.2	4.0	7.5	8.6	10.0
利回り*	日本国債2年物	0.930	0.009	0.193	0.044	0.581	0.325
	日本国債10年物	1.654	0.009	0.231	0.068	0.822	0.553
	日本国債20年物	2.633	-0.006	0.306	0.326	0.969	0.732
	日本国債30年物	3.171	-0.004	0.258	0.554	1.081	0.874
	米国債2年物	3.644	0.071	-0.076	-0.375	0.014	-0.599
	米国債10年物	4.176	0.048	-0.067	-0.177	0.379	-0.396
	米国債20年物	4.727	0.013	-0.074	-0.001	0.543	-0.133
	米国債30年物	4.750	0.005	-0.051	0.047	0.618	-0.033
	ドイツ国債2年物	2.030	0.007	0.205	-0.089	-0.100	-0.052
	ドイツ国債10年物	2.746	-0.002	0.177	-0.049	0.563	0.379
	イタリア国債10年物	3.581	0.048	0.128	-0.316	0.098	0.059
	スペイン国債10年物	3.313	0.018	0.101	-0.107	0.348	0.252
商品など	東証REIT(配当込み)	5,135.02	0.8	10.0	15.8	16.4	22.1
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 注8 (米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)	760.67	0.1	4.4	6.6	▲ 0.4	8.6
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 注8 (ﾍｯｼﾞなし・円ﾍﾞｰｽ)	874.55	1.2	8.0	5.8	2.9	3.3
	香港REIT 注9	641.30	▲ 2.5	▲ 5.1	12.7	11.0	25.5
	オーストラリアREIT 注9	1,370.01	▲ 2.4	4.4	12.0	3.8	11.0
	北海ブレント原油先物	70.13	5.2	3.5	▲ 5.0	▲ 2.1	▲ 6.0
	WTI原油先物	65.72	4.9	0.7	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 8.4
	ニューヨーク金先物	3,809.00	2.8	13.8	24.8	41.3	44.2
	CRB指数	305.03	2.0	2.3	▲ 0.7	7.2	2.8
	シンガポール鉄鉱石先物	103.60	▲ 2.8	11.0	1.2	5.2	2.6
	S&P MLPﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	9,894.02	1.9	0.3	▲ 4.0	14.3	5.7
	S&P BDCﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	411.60	▲ 3.7	▲ 4.7	▲ 6.8	1.7	▲ 4.8
	ビットコイン	109,361.22	▲ 5.2	1.4	25.3	69.1	16.7

*「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅

注8 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数　：S&PｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数(配当込み)

注9 香港/ｵｰｽﾄﾗﾘｱREIT指数　：S&Pの各地域/国REIT指数(配当込み、現地通貨ﾍﾞｰｽ)

	為替(米ﾄﾞﾙ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽを除き、対円)	先週末	騰落率(%) 週間	3ヵ月	6ヵ月	1年	24年末比
北米	米ドル・インデックス	98.15	0.5	1.0	▲ 6.1	▲ 2.4	▲ 9.5
	米ドル	149.49	1.0	3.5	▲ 0.7	3.2	▲ 4.9
	カナダ・ドル	107.22	▲ 0.1	1.3	1.6	▲ 0.3	▲ 1.9
欧州	ユーロ	174.95	0.7	3.5	8.0	8.1	7.5
	英ポンド	200.41	0.6	1.1	3.3	3.2	1.9
	スイス・フラン	187.36	0.7	3.8	10.0	9.5	8.1
	スウェーデン・クローナ	15.89	1.2	4.5	6.0	10.9	11.9
	アイスランド・クローネ	1.234	1.5	3.7	9.0	14.9	9.1
	ノルウェー・クローネ	14.99	0.7	4.6	5.1	9.0	8.5
	デンマーク・クローネ	23.44	0.7	3.5	8.0	8.0	7.4
アジア・オセアニア	中国人民元	20.95	0.8	4.1	1.2	1.6	▲ 2.9
	香港ドル	19.22	1.0	4.5	▲ 0.7	3.2	▲ 5.0
	台湾ドル	4.90	▲ 0.0	▲ 1.2	7.9	8.0	2.5
	韓国ウォン(100ｳｫﾝ当たり)	10.61	0.1	▲ 0.6	3.4	▲ 3.5	▲ 0.3
	シンガポール・ドル	115.74	0.5	2.1	3.0	2.6	0.5
	マレーシア・リンギ	35.48	0.9	4.2	4.7	1.6	1.3
	タイ・バーツ	4.64	▲ 0.1	4.4	4.7	3.7	1.4
	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ・ﾙﾋﾟｱ(100ﾙﾋﾟｱ当たり)	0.893	0.3	0.3	▲ 1.5	▲ 6.5	▲ 8.2
	フィリピン・ペソ	2.577	▲ 0.5	1.2	▲ 1.2	▲ 0.6	▲ 4.3
	ﾍﾞﾄﾅﾑ・ﾄﾞﾝ(100ﾄﾞﾝ当たり)	0.566	1.0	2.4	▲ 3.9	▲ 3.8	▲ 8.2
	インド・ルピー	1.69	0.4	0.1	▲ 4.0	▲ 2.4	▲ 8.0
	オーストラリア・ドル	97.87	0.3	3.5	3.2	▲ 2.0	0.6
	ニュージーランド・ドル	86.31	▲ 0.4	▲ 1.3	0.1	▲ 5.8	▲ 1.9
中南米	ブラジル・レアル	27.98	0.7	6.4	6.5	5.2	9.9
	メキシコ・ペソ	8.14	1.3	6.5	8.7	10.4	7.9
	ｺﾛﾝﾋﾞｱ・ﾍﾟｿ(100ﾍﾟｿ当たり)	3.83	0.1	7.3	5.1	10.1	7.3
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	15.57	0.5	0.5	▲ 4.2	▲ 3.1	▲ 1.3
	ペルー・ヌエボ・ソル	42.80	1.2	5.3	3.5	10.1	1.8
東欧	ポーランド・ズロチ	41.00	0.6	2.9	6.0	8.3	7.8
	ﾊﾝｶﾞﾘｰ・ﾌｫﾘﾝﾄ(100ﾌｫﾘﾝﾄ当たり)	44.77	0.6	6.0	10.8	9.6	13.2
	ルーマニア・レイ	34.45	0.5	3.4	5.9	5.9	5.2
	トルコ・リラ	3.59	0.7	▲ 0.7	▲ 9.2	▲ 15.0	▲ 18.8
その他	南アフリカ・ランド	8.63	1.2	6.6	4.6	2.3	3.4
	エジプト・ポンド	3.11	1.3	7.6	4.4	3.8	0.5

（騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高）

注1 世界株価指数　：MSCIｵｰﾙｶﾝﾄﾘｰﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注2 先進国株価指数　：MSCIﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注3 先進国(除く日本)株価指数　：MSCI-KOKUSAIｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注4 新興国株価指数　：MSCIｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾄ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注5 日本国債指数　：FTSE日本国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(円ﾍﾞｰｽ)
注6 先進国(除く日本)国債指数　：FTSE世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(除く日本、米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)
注7 新興国債券指数　：JPﾓﾙｶﾞﾝ・ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾄ・ﾎﾞﾝﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾌﾟﾗｽ(ﾍｯｼﾞなし・米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

※右表の為替ﾚｰﾄは原則としてﾆｭｰﾖｰｸの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのﾃﾞｰﾀもﾆｭｰﾖｰｸ17時時点です。
※指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。
※データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

先週の主な出来事（株式市場での反応を○、△、×の順で評価）

日付	市場の反応	国・地域	指標など（コメント）
9月22日（月）	△	日本	**長期金利が約17年ぶりの高い水準に上昇** 日本では、日銀による追加利上げが近いとの観測を背景に国債利回りが上昇し、新発10年債で一時、1.665%と、2008年7月以来の高い水準となった。ただし、株式市場では、前週末の米株高などを背景に、半導体関連などのﾊｲﾃｸ株を中心に相場が反発し、日経平均株価は最高値を更新した。円相場は概ね1ﾄﾞﾙ＝148円台で推移した。なお、中国本土では、AI(人工知能)分野の発展期待などを背景にﾃｸﾉﾛｼﾞｰ株が買われ、株式相場が上昇した。一方、香港市場では、大型台風が接近し、翌日以降、影響が懸念されたことなどから株式相場は下落した。
	△	米国	**ﾐﾗﾝFRB理事は大幅利下げを主張も、地区連銀総裁からは利下げに慎重な発言が相次ぐ** ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領の指名で前週にFRB(連邦準備制度理事会)理事に就任したﾐﾗﾝ氏は講演で、景気を冷やしも熱しもしない中立金利の水準が過大評価されている可能性が高く、実際には低下しているとして、今後数ヵ月で積極的に利下げすべきだとの見解を示した。一方、地区連銀総裁からは、追加利下げに慎重な発言が相次いだ。また、AI向け半導体に強い米半導体大手が、米AI研究・開発企業に最大1,000億ﾄﾞﾙを投資し、AI向けの巨大ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰを構築すると発表した。ﾊｲﾃｸ株を中心に株式相場が続伸し、主要3指数が最高値を更新した。国債利回りは、利下げ観測がやや後退したことなどから上昇した。外国為替市場では、ﾄﾞﾙが下落し、円相場は147円台に上昇した。また、米利下げ観測やﾄﾞﾙの先安観などを背景に金先物が買われた。
23日（火）	△	欧米	**ﾕｰﾛ圏でPMIが1年4ヵ月ぶりの高い水準となった一方、英・米では低下** 9月のPMI(購買担当者指数)速報が発表され、ﾕｰﾛ圏では総合ﾍﾞｰｽで前月比+0.2ﾎﾟｲﾝﾄの51.2と、2024年5月以来の高い水準となった。ﾌﾗﾝｽで総合PMIが低下したものの、ｻｰﾋﾞｽ業にけん引され、ﾄﾞｲﾂの総合PMIが予想を上回って改善し、1年4ヵ月ぶりの高い水準となったことなどが寄与した。一方、英国では総合PMIが前月比▲2.5ﾎﾟｲﾝﾄの51.0、米国でも▲1.0ﾎﾟｲﾝﾄの53.6と、いずれも予想を下回った。同指数は50が好・不調の境目。また、米FRBのﾊﾟｳｴﾙ議長は講演で、短期的なｲﾝﾌﾚのﾘｽｸは上方向、雇用のﾘｽｸは下方向となっており、難しい状況にあるとの見解を示したほか、株価についてはかなり割高に評価されていると述べた。欧州では、ﾕｰﾛ圏で株式相場が上昇したが、英国では小幅安となった。国債利回りはﾏﾁﾏﾁだった。米国では、ﾊｲﾃｸ株に利益確定売りが拡がったことなどから、相場は反落した。国債利回りは、総合PMIが予想を下回ったことなどから低下した。また、中東情勢懸念などから原油先物が買われたほか、米利下げ観測などを背景に金先物が続伸し、ﾆｭｰﾖｰｸでは最高値を更新した。
24日（水）	○	ｱｼﾞｱ	**日本では、自民党総裁選候補者の発言を受け、財政拡張の思惑が拡がる** 日本では、自民党総裁選挙の候補者による討論会で、消費税減税について、過半の候補が議論を続ける考えを示したことなどから、次期政権での財政拡張の可能性が株式市場で意識された。また、ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ系投資持株会社が、米国で有力企業とともにAI向けﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰを設ける計画を発表したことが好感され、同社株が買われたこともあり、株式相場が続伸し、主要2指数は最高値を更新した。国債利回りは、日銀の国債買入れｵﾍﾟ(公開市場操作)が堅調な結果となったことから低下した。また、円相場が148円台に反落した。中国では、ﾊｲﾃｸ株などを中心に本土株式が上昇したほか、香港株式も、好材料の出たｲﾝﾀｰﾈｯﾄ大手などを中心に上昇した。
	○	欧州	**ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領、ｳｸﾗｲﾅはﾛｼｱから全土を奪還できる** ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領は23日、欧州の支援があれば、ｳｸﾗｲﾅはﾛｼｱから全土を奪還できるとの見解を示し、和平合意に向けて一部領土の割譲をｳｸﾗｲﾅに要求してきた従来の態度を一転し、ﾛｼｱへの圧力を強める構えを示唆した。24日には、Ifo経済研究所が発表した、ﾄﾞｲﾂの9月の企業期待指数が前月比▲1.7ﾎﾟｲﾝﾄの89.7と、予想に反して5ヵ月ぶりに低下した。ｲﾝﾄﾞﾈｼｱの鉱山での事故の影響などから銅価格が大幅高となったこともあり、防衛関連株や資源株が買われた一方、高級ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ銘柄などは売られ、株式相場はﾏﾁﾏﾁとなった。国債利回りは小動き、ﾏﾁﾏﾁだった。
24日（水）	×	米国	**ﾊｲﾃｸ株などを中心に利益確定売りが続く** 8月の新築住宅販売件数は前月比+20.5%の年率80.0万戸と、予想に反して大幅に増加し、2022年1月以来の高い水準となった。値引きなどが寄与したとみられる。大規模な社債発行の影響などもあり、国債利回りが上昇した。株式市場では、ﾊｲﾃｸ株を中心に利益確定売りが続き、相場が続落した。外国為替市場では、ﾄﾞﾙが買われた。また、ｳｸﾗｲﾅ軍がﾛｼｱの石油関連施設を攻撃したことなどから、原油先物が買われた一方、金先物はﾄﾞﾙ高や利益確定売りなどを背景に反落した。なお、25日のｱｼﾞｱでは、円相場の弱含みが続き、輸出関連株が買われたことに加え、配当の権利取り狙いの買いなどもあり、日本の株式相場が続伸し、主要2指数が最高値を更新した。
25日（木）	×	米国	**堅調な経済指標の発表が相次ぎ、利下げ観測が後退** 4-6月期のGDP確定値は前期比年率+3.8%と、改定値から0.5ﾎﾟｲﾝﾄ上方修正され、2023年7-9月期以来の高い伸びとなった。個人消費の伸びの上方修正が寄与した。PCE(個人消費支出)物価指数も前期比年率+2.6%へ上方修正された。また、20日までの週の新規失業保険申請件数が21.8万件と、予想に反して前週比で減少(改善)し、7月中旬以来の低い水準となった。8月の中古住宅販売件数は前月比▲0.2%の年率400万戸と、予想をやや上回った。FRB高官や地区連銀総裁からは、利下げについて賛否両論が相次いだが、堅調な経済指標の発表を受け、欧米の国債利回りは上昇した。また、米利下げ観測が後退し、欧米株式相場は下落した。欧州では、米政権が、ﾛﾎﾞｯﾄや産業機械、医療機器の輸入が国家安全保障に与える影響について調査を始めたと伝わったことを受け、ﾍﾙｽｹｱ関連株などが売られた。外国為替市場ではﾄﾞﾙが買われ、円相場は149円台に下落した。
26日（金）	△	日本	**ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領、医薬品や大型ﾄﾗｯｸなどに追加関税を課すと表明** ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領は25日、一部の医薬品に100%、大型ﾄﾗｯｸに25%などの追加関税を10月1日から課すと表明した。26日の日本では、前日の米株安の影響などから半導体関連株が売られたほか、医薬品株にも売りが目立ち、日経平均株価は反落したものの、円相場が一時、149円96銭前後と、8月初め以来の円安・ﾄﾞﾙ高水準となったことや、配当の権利取りの動きもあり、TOPIXはかろうじて最高値を更新した。円相場は、対ﾕｰﾛでも一時、1ﾕｰﾛ＝175円前後と、2024年7月以来の円安・ﾕｰﾛ高水準をつけた。
	○	米国	**個人所得・消費支出は予想を上回り、PCE物価指数は予想通り** 8月の個人所得が前月比+0.4%、消費支出は+0.6%と、ともに市場予想を上回り、PCE物価指数は、全体で前年同月比+2.7%、ｺｱで+2.9%と、いずれも予想通りだった。国債利回りは、長期債で上昇したが、短期債では低下した。株式相場は、米利下げ観測などを背景に反発した。欧州では、国債利回りが低下、株式相場は反発した。また、ﾛｼｱからのｴﾈﾙｷﾞｰ供給が減るとの見通しなどから原油先物が買われたほか、米利下げ観測から金先物も買われた。

今週の主な注目点（高:注目度大、中:注目度中、低:ご参考）

日付	注目度	国・地域	指標など（コメント）
10月1日（水）	高	米国	**9月のISM(供給管理協会)製造業景況指数** 8月は48.7だった。9月の予想は49.0となっている。同指数は50が好・不調の境目。
3日（金）	高	米国	**9月の雇用統計** 8月は、非農業部門雇用者数が前月比+2.2万人、失業率は4.3%、平均時給は前年同月比+3.7%だった。9月はそれぞれ、+5.0万人、4.3%、+3.7%と予想されている。

上記のほか、米国では、9月の消費者信頼感指数(30日)、同月のISM非製造業景況指数(10月3日)の発表や、FRB副議長、地区連銀総裁の講演などが予定されている。日本では、9月の日銀・金融政策決定会合の主な意見の公表(30日)、9月調査の日銀短観の公表(10月1日)、植田日銀総裁の会見(3日)、自民党総裁選の投開票(4日)が予定されている。欧州では、10月1日にﾕｰﾛ圏の9月の消費者物価指数速報が発表されるほか、EU(欧州連合)首脳会議が開催される。中国では、9月のPMIが30日に発表されるほか、10月1日～8日は国慶節の連休となる。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。